

業務の新聞

第66号 2020年12月4日

コミュニケーション！

この間、支社の各主管部と職場におけるコミュニケーションの重要性を時間をかけて論議してきました。加えて「コミュニケーションは双方向が基本である」ことを確認してきました。

「“TeamS”発信した」ことで職場での“会話”が成立している、職場での“意志一致”が図られた。と極めて一方的な・勝手な思い込みで「職場運営」を行っている職場管理者がいらっしゃるようです。

あなたの職場は大丈夫ですか？

社員の生の声を聞いていますか？

会話は成立していますか？

社員と管理者の意思は一致していますか？

職場から感染予防・会社経営や施策展開・安全・職場運営について、もっともっと話しましょう！

シッカリ考え方！

『フューチャー21』という施策を皆さん覚えていますか？21世紀にはこれを目指そう！と進められた施策でした。このとき社員に配布された冊子には“職場で働く社員の姿”は、極めて少なく描かれていました。

今現在、新型コロナウイルス感染予防の観点から『非接触・非対面のサービスの提供』が検討され、委託駅において“実証実験”が行われています。

今後、会社は「変革」やグループ総体の持続的発展そして生産性の向上を掲げ、ますます“職場で働く社員の姿”極めて少ないJR東日本をつくろうと施策を次々に発し・展開していくことは容易に想像できます。

私たちは、職場を基本に「衣食住・育児・介護」など社員と家族の幸せの実現に向け取組み続けます。

原点は職場です！

「2年続けて赤字にしてはならない」と経営幹部は言っています。

この間のボーナス交渉で本部が示したように、今まで以上「人件費の抑制」に主眼を置いた会社施策が展開されていきます。

安全・安定輸送を提供するのも、会社の収入を挙げるのも、お客様と日々接しサービスを提供するのも、私たちが働く「職場」です。この会社の原点は私たちの働く『職場』です。

今ある職場現実をキッチンとシッカリ捉え、施策とのギャップを埋めていかなければ、“悔しい明細”を頂く結果になってしまいます。『しょうがない』と済まずに、仕事と職場そして会社の未来を考え語り行動しましょう！

納得できる仕事がしたい！

「ボーナスどうなりますかね？」「この研修って意味あるんですか？」「これからどうなるんですかね？」「言ってもムダだ」と、自分の勤める会社のことなのにどこか他人事のような“コトバ”が職場で行き来していませんか？不安な顔で仕事してませんか？疑問を抱いてまま放置していませんか？

『納得できる仕事がしたい!』と若き仲間は発信しています。皆さんはどのように感じますか？

感じ、考え、学び、語り合い、この会社を職場から創造・発展されるのは職場の主役である私たちです。

放置せず、放棄せず、諦めず、「納得できる仕事をする」ために仲間たちと歩んでいきましょう！